

北里大学におけるカリキュラム改革 および 教育体制の現状と課題

北里大学 獣医学科
岡野 昇三

現行カリキュラム

- 獣医学教育モデル・コア・カリキュラム
（平成24年度版）を考慮して作成
- 2015年度入学者から対応
- 現6年生が最初の学年にあたり、
本年度末で1クールが完結する

旧カリキュラムからの主な変更点は？

- 共用試験受験のため科目配当年次を変更
- 医療面接実習
- 参加型臨床実習
- 卒業に必要な単位数の増加

北里大学 獣医学科 ディプロマ・ポリシー

豊かな人間性を有し、獣医学・獣医療の専門職業人として高度の知識・技能と社会の要請に対応可能な問題解決能力を身に付けていることを重視する。

学位授与の方針は、生命科学を理解し、高い教養と倫理観を身に付け、動物の病気の診断・治療・予防、食品の安全性の確保と供給、医薬品の開発、野生動物の保全、人獣共通感染症の制圧など獣医学に対する社会の多様な要請に応えられる能力と意欲を持つこと。

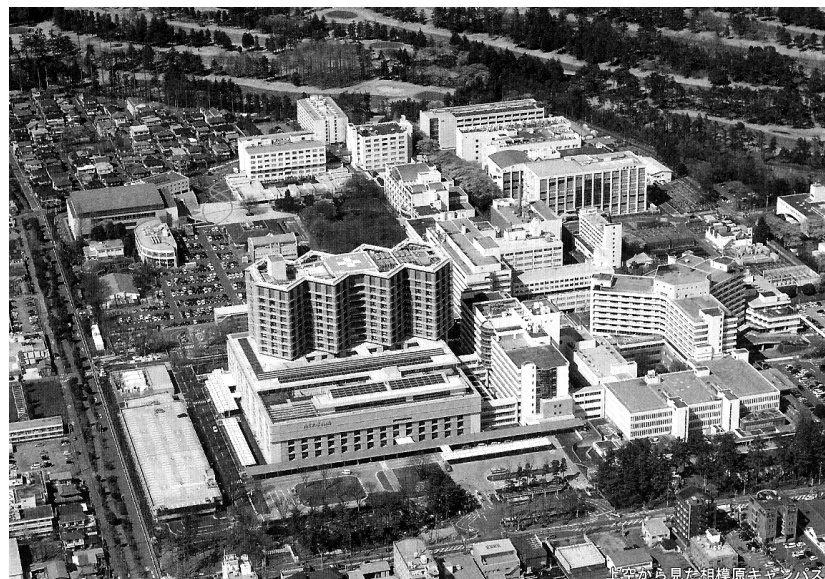
1年次

— 獣医学を学ぶ土台をつくる —

相模原キャンパスで、専門教育を受けるための基礎学力を養うと共に
幅広い視野を持つ人間性豊かな科学人になるための素地を作る。

専門科目として後期に「獣医生理学」「獣医生化学」「獣医解剖学」などが開講されている。

[主な開講科目] 哲学の楽しみ / 心理学 / 日本国憲法 / 仕事と人生 / 英語 / 生物実験 / 化学実験 / 動物分類学 / 獣医学概論など



2年次

— 十和田キャンパスで本格的専門教育が開始 —

獣医学の専門科目の講義が本格的にスタートする。
大自然の中で、獣医師となるための基礎を身につけるために、「動物遺伝学」「獣医生理学」「獣医微生物学」などの**基礎的専門科目**を学ぶ。

[主な開講科目] 獣医学入門 / 動物遺伝学 / 獣医解剖学 / 獣医生理学 / 獣医生化学 / 獣医微生物学 / 獣医免疫学など



3・4年次

— より専門的な獣医学教育が本格化 —

基礎獣医学系科目に加え、予防獣医学系科目や臨床系科目など実践的教育が本格化する。

4年次後期からは、獣医学科の20研究室のいずれかに所属して、卒論研究に取り組む。

[主な開講科目] 獣医病理学 / 獣医感染症学 / 獣医衛生学 / 獣医薬理学
獣医公衆衛生学 / 獣医内科学 / 獣医外科学 / 獣医放射線学など



5・6年次

— 臨床教育と卒業研究で実践的な学び —

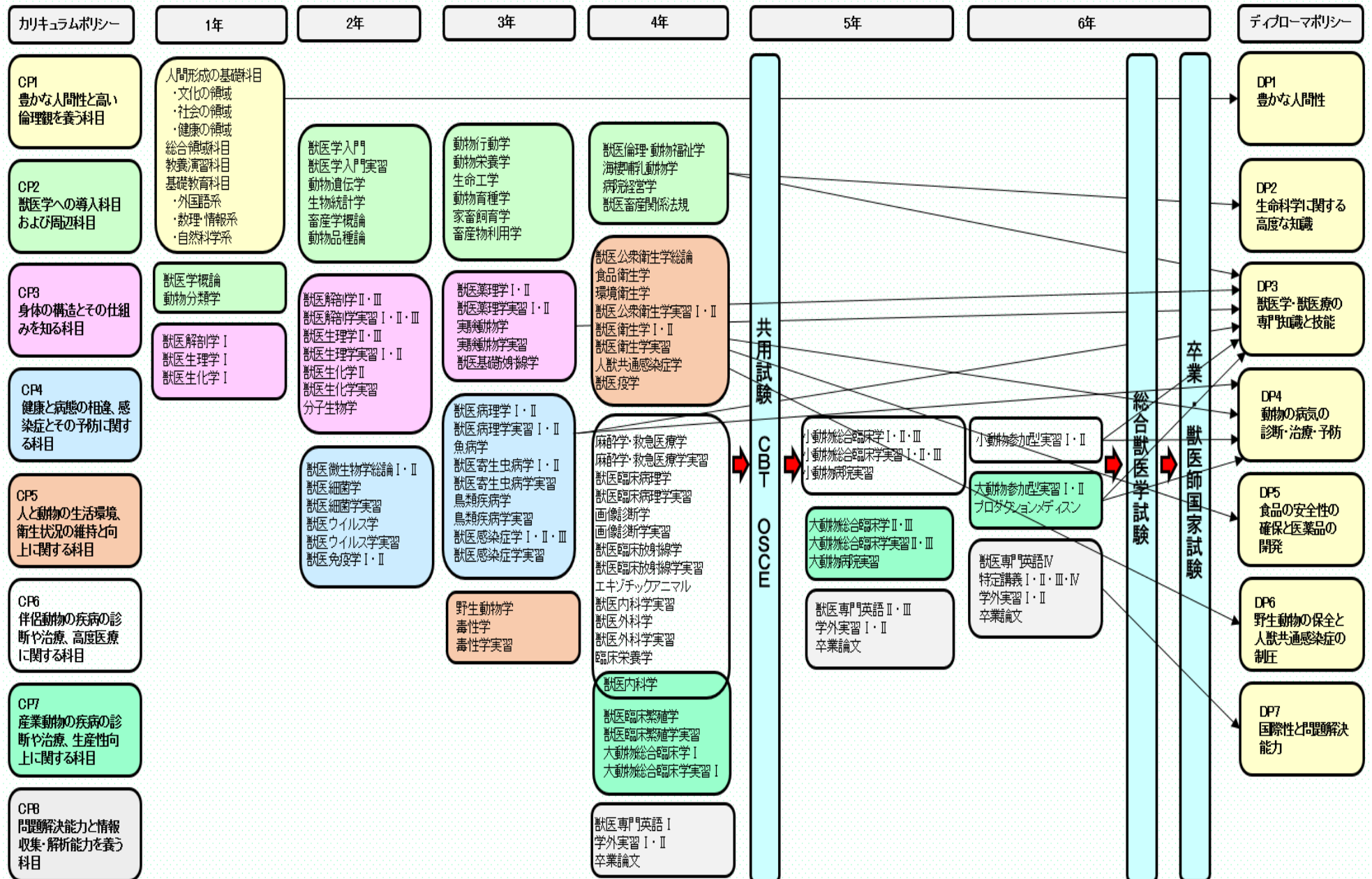
共用試験を合格後、附属動物病院での臨床実習が始まり、さらに家畜保健衛生所、動物病院などでの学外実習を通して獣医師の仕事の現場を体験をする。

所属研究室での卒業研究が本格化、卒業論文研究に重点を置く。

[主な開講科目] 小動物総合臨床学 / 大動物総合臨床学 / 小動物病院実習 / 大動物病院実習 / エキゾチックアニマル / 総合獣医学など



カリキュラムマップ



教育の特徴

1. 講義は、1コマ = 1時間 × 15回 = 1単位
 - ・ 講義に集中できる。
 - ・ 講義名と到達目標を理解しやすい
2. 実習の充実
 - ・ 1科目につき、3～4時間 × 13～15回 を全員が実習する
 - ・ 2～5年次まで、月～金の午後は、ほぼ全てが実習時間
3. 卒業研究を通して、問題解決力を身につけさせる
 - ・ 4年次後期から研究室に所属し、卒業研究を開始する
 - ・ 6年次10月に卒業研究(単著が基本)の発表会がある
4. 学外での参加型臨床実習が準備されている

参加型臨床実習の特徴

5年生後期:ベーシック

小動物2単位、大動物1単位を必須
学内での実施のみ

6年生前期:アドバンス

小動物2単位または大動物2単位を選択必須
学内、学外で実施(どちらか、組み合わせも可能)

学外(5月～7月の前期期間中に実施)

小動物:協力病院が全国に約60病院

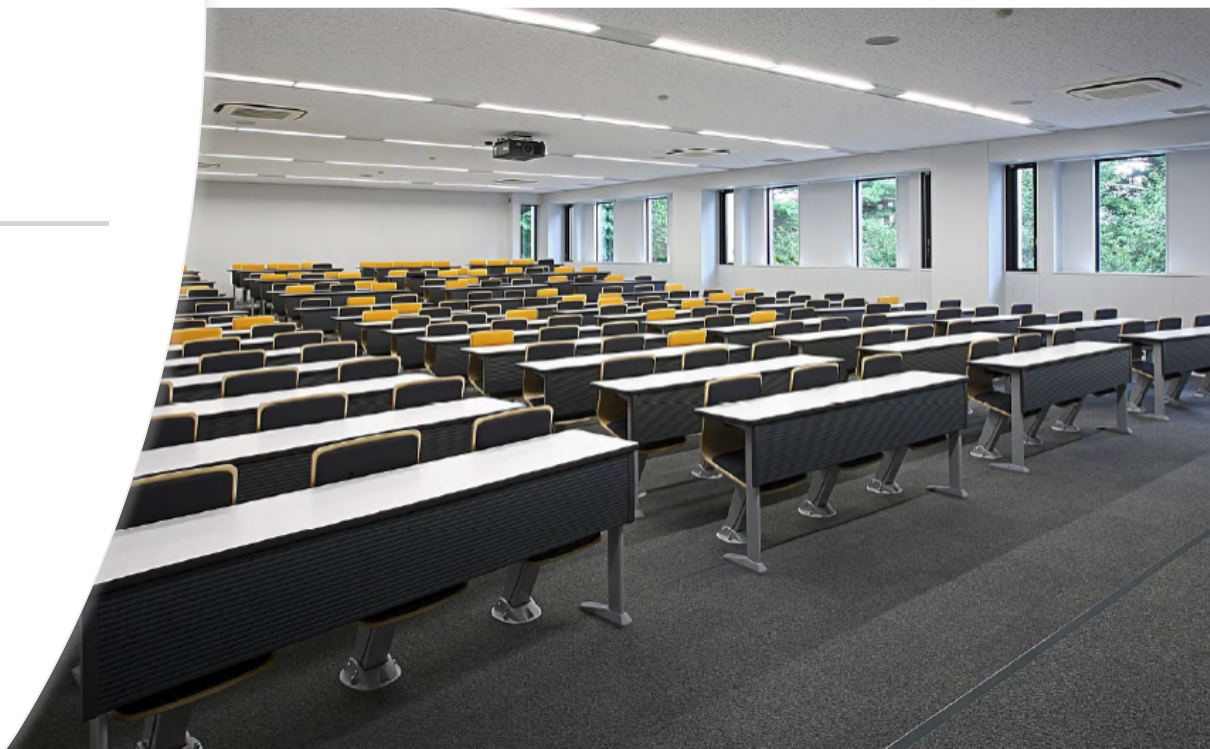
大動物:NOSAI青森をはじめ約20施設が協力

獣医新棟
A棟7階
B棟3階

2014年8月 完成



カリキュラム
改訂により
施設の拡充



医療面接実習用の実習室設置





シュミレーションラボの設置

教育体制の現状

獣医学科教員：53名（女性教員2名）

生体機構系 7研究室 15名

予防衛生系 6研究室 16名

臨床系 8研究室（+ 動物病院）22名

（2020.9.1現在）

カリキュラムおよび教育体制の課題

- 大学の特徴を如何に出すか(コアカリが多くの部分を占める)
- 教育負担の平準化(特に臨床系教員)に向けた対応
- 講義と実習時間のバランス
- 科目名称(コアカリ科目名称とのすり合わせ)
- 小動物診療センターの広さ(2008年建設)
設計時では、参加型臨床実習を想定していなかったため、
学生数が多いために狭い
- 症例(小動物)献体を用いた病理解剖実習の充実
- 女性教員比率の増加
- 臨床教員の負担軽減

上記3項目は第三者評価(大学基準協会)で指摘

今後の対応

新カリキュラム策定は、現在検討中

- 現カリキュラムの総括
 - ✓ 本年度卒業者（最初の現カリキュラム履修）へのアンケート調査など
 - ✓ 卒業者の成績調査など
- 教員（特に臨床系）の補充および増員

ご視聴頂きありがとうございました